

◇ウェルファーム杉並（天沼三丁目複合施設）複合施設棟の開設

～縦割りの支援から、横串の支援へ～

平成 30 年春、ウェルファーム杉並の複合施設棟が開設します。この施設は、誰もが気軽に利用できる区民の福祉と暮らしのサポート拠点となる複合施設です。在宅医療・生活支援センターが新設されるとともに、福祉事務所や就労支援センターなどが同一施設内に集約されます。また、子ども・子育てプラザ天沼や天沼区民集会所も運営されます。

さらに、平成 33 年度には複合施設に隣接して、200 名規模の特別養護老人ホームや診療所、訪問看護ステーションなどもオープン予定です。

■ウェルファーム杉並の概要

複合施設棟 (平成 30 年 3～4 月に順次開設)	特別養護老人ホーム棟 (平成 33 年度開設予定)
在宅医療・生活支援センター、杉並福祉事務所、杉並区社会福祉協議会、杉並区成年後見センター、杉並ボランティアセンター、就労支援センター、くらしのサポートステーション、天沼区民集会所、消費者センター、子ども・子育てプラザ天沼	特別養護老人ホーム（区内最大級＜定員 200 名以上＞、ショートステイ含む） 診療所 訪問看護ステーションなど

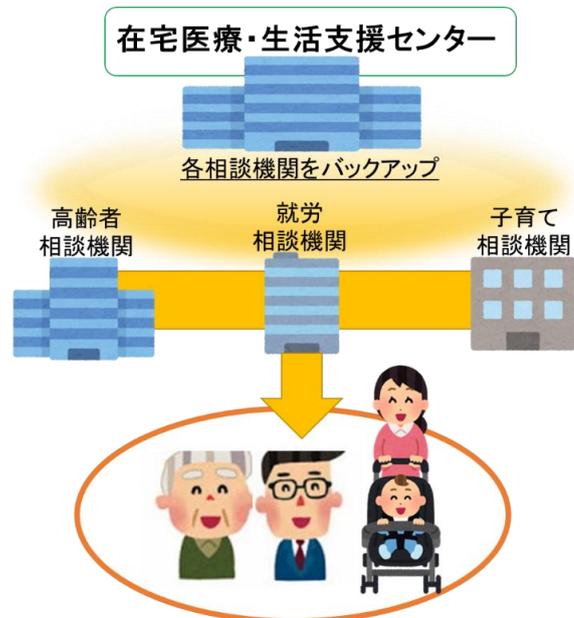
■在宅医療・生活支援センターの新設

・在宅医療相談調整窓口の充実

子どもから高齢者まで、医療を受けながら生活する方が、自宅などの希望する場所で安心して療養ができるよう、30 年度から在宅医療相談調整窓口を在宅医療・生活支援センターに移し、看護師 1 名を新たに加え相談体制を充実します。それにより医療ニーズの高いケース（難病、がん、障害、看取りなど）に対して、看護師としての経験を踏まえた医療機関や関係機関との調整を行うとともに、在宅療養生活での具体的な悩みに寄り添った助言も行います。

・包括的な支援体制の構築

近年、介護と育児に同時に直面するダブルケアや、障害者のケア、病気を抱えた家族の看護など複合的な課題を抱えた世帯が増加しています。こうした複合的な生活課題に対して、それぞれの担当が縦割りで支援するのではなく、高齢者、障害者や子育てなど分野に横串をさすような包括的な支援の体制を構築します。在宅医療・生活支援センターは、支援の計画を立て、進行管理を行うなど相談機関を後方支援することで、その世帯全体への支援を推進していきます。区が制度横断的に地域の相談機関を後方支援する体制は、他の自治体でもなかなか例を見ない体制です。



■地域の支えあいの仕組みづくり

支援が必要な世帯を孤立させないよう地域の支えあいの仕組みづくりを構築するため、町会・自治会をはじめ、現在、地域で活動している様々な団体とともに、課題を共有し、今後必要となる取り組みを検討していきます。